

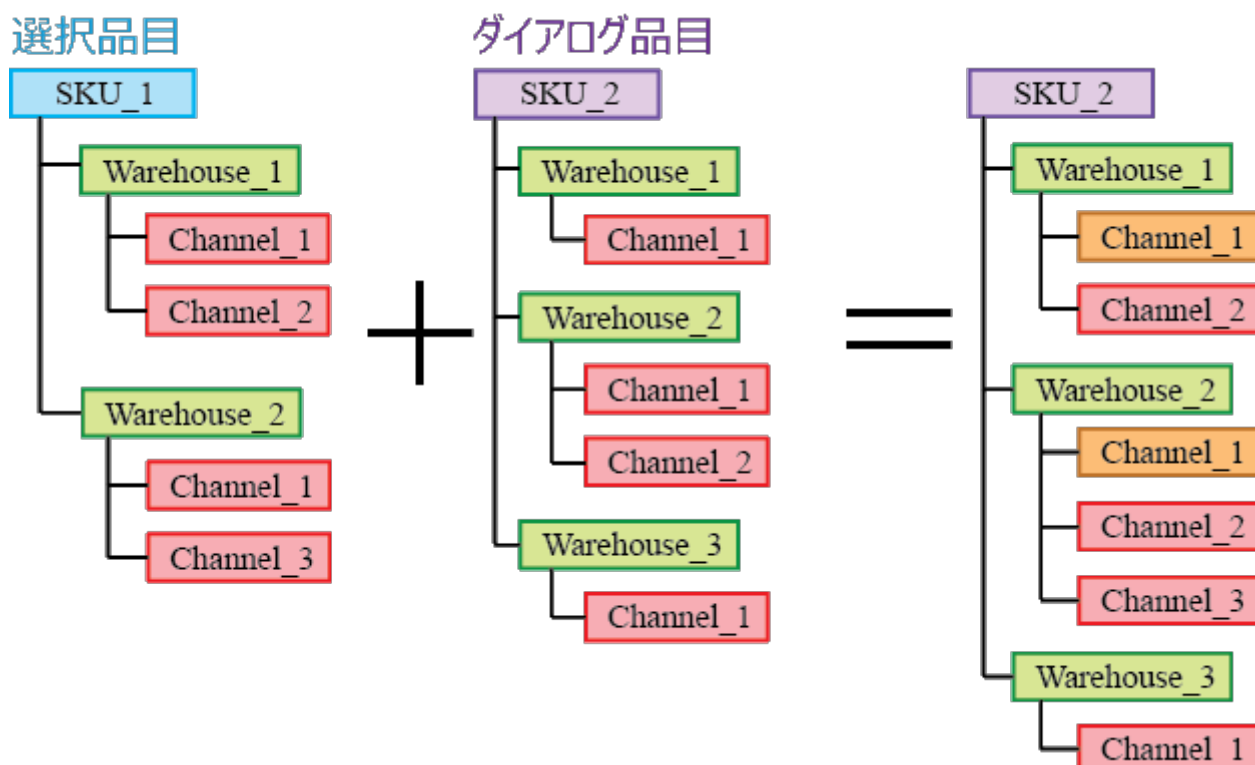
すべての品目レポート（あるいは他のカスタムレポート）の右クリックメニューには、よく利用される計画品目の操作がまとめられています。メニュー内のコマンドは、選択中の計画品目に適用されます。

次の手順に従い、右クリックメニューを開きます(下記の図を参照)。



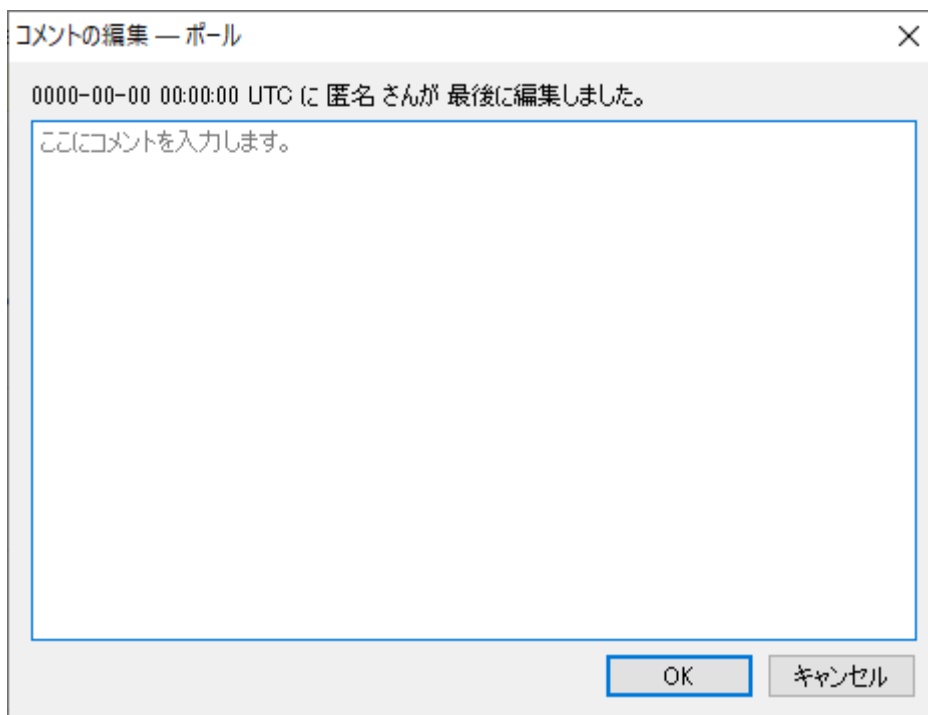
次に、コマンドの説明を記載します。:

- **クリップボードに品目をコピー**は、選択計画品目の品目コードをコピーします。
- **インポートから削除**は、選択(計画品目ではなく)品目コードのインポートを禁止します¹⁾
- **置換**は、選択計画品目を、別の計画品目に統合します。統合先の計画品目の指定には、表示ダイアログに品目コードを入力します。統合は、チャンネルを基礎にします(下記の図を参照)。統合先がプロジェクトに存在する品目コードの場合、統合元の品目コードは削除されます。統合先がプロジェクトに存在しない品目コードの場合、統合元の品目コードが変更されます。



上記図のオレンジは、統合された履歴を持つチャンネルを示します

- **すべて選択** レポート内のすべての品目を選択します。
- **編集**は、選択セルを編集モードに切り替え、パラメータに新しい値を入力できるようにします。このコマンドは、編集可能な列(テーブルにある黄色の背景の列)のみ利用できます。選択した複数の計画品目を対象にある特定の補充パラメータを一括変更するために利用されます。
- **コメントの追加**は、**コメントの編集**ダイアログを表示します。このダイアログから、選択計画品目に関するコメントの追加、編集、削除をします。



- **在庫計算説明**は、選択計画品目を対象に**在庫計算説明ダイアログ**を開きます。

1)

翻訳者注釈: 地点が異なる同じ品目コードにこの機能を適用すると、地点を区別した削除ができず、プロジェクト全体からこの品目コードが削除されます。

From:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:inventory-report-context-menu>

Last update: **2020/09/28 12:23**

